

(対象期間：2022/8/29～2022/9/2)

【株式市場】ジャカルタ総合指数の推移
(2016年1月4日～2022年9月2日)

【株式市場】

29日のインドネシア株式市場は前週末にパウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長が金融引き締め継続を示唆したことによる世界的な株安を受け下落したものの、一部で下値を拾う動きがみられ横ばいとなりました。30日、31日は外国人投資家からの資金流入を受け上昇しました。1日は同日発表の8月の消費者物価指数（CPI）は前月から低下したもののコア・インフレ率は上昇し、インフレ警戒感から株式市場は下落しました。2日は銀行株や石炭株などが続伸し上昇しました。インドネシア株式市場は前週末比上昇しました。

| 2022/8/26 | 2022/9/2 | 変化率 |
|-----------|----------|--------|
| 7,135.25 | 7,177.18 | +0.59% |

【債券市場】インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移
(2016年1月1日～2022年9月2日)

【債券市場】

29日は前週末のFRB議長の発言を受けて世界的にリスク回避姿勢が強まり、インドネシア国債利回りも上昇（価格は下落）しました。30日に行われた国債入札では強い需要がみられ、利回りは低下しました。31日は翌日のCPI発表を前に小動きとなりました。1日発表のCPIは食品価格の低下を背景に前月からやや低下しましたが、コア・インフレ率は引き続き上昇しました。利回りはまちまちの展開となりましたが、長期債の利回りは低下しました。2日は米雇用統計の発表を前に様子見姿勢が強まり小動きとなりました。10年国債利回りは前週末比上昇しました。

| 2022/8/26 | 2022/9/2 | 変化幅 |
|-----------|----------|--------|
| 7.064 | 7.144 | +0.080 |

【為替市場】インドネシアルピアの対円レートの推移
(2016年1月1日～2022年9月2日)

【為替市場】

29日は前週末のFRB議長の発言を受けて世界的にリスク回避姿勢が強まったためルピアは対米ドルで下落しました。30日は株式市場への外国人投資家から資金流入などを受け反発、31日はインドネシア中央銀行（BI）パーリー総裁がエネルギー価格の上昇を背景に2023年のインフレ率を4%以下に抑えるのは難しいと述べたことが嫌気され上値の重い展開となりました。1日発表のCPIはコア・インフレ率が引き続き上昇しインフレ警戒感からルピアは下落しました。2日は米国の雇用統計を前にして続落しました。ルピアは前週末比対米ドルは下落、対円では上昇しました。

| 2022/8/26 | 2022/9/2 | 変化率 |
|-----------|----------|--------|
| 0.9241 | 0.9421 | +1.95% |

100インドネシアルピアの対円レート

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社は関係がありません。